



鳥羽市・サンタバーバラ市学生交換派遣事業 ホームステイ体験記

市民課人権・市民交流係 ☎ 25 1126



市内の中学生4人が7月27日～8月7日にかけて姉妹都市サンタバーバラ市を訪れ、8月9日～18日にはそれぞれの家庭がサンタバーバラ市の中学生を受け入れました。

貴重な体験をした中学生のみなさんにホームステイ先での感想を話していただきました。

「すばらしい体験」

皇學館中学校2年 小久保 凱生

不安。昨年この事業に参加した僕の姉はサンタバーバラへ行き、ホームシックになったと聞きました。僕は姉より英語が話せないの、正直自分はアメリカでやっていけないだろうなと思い、行くのが

少し怖かったです。

アメリカに着いて、ジャランのお母さんとお父さんと話をしました。最初は少し聞きとれるだけでしたが、日がたつにつれて、だんだんとしつかり理解できるようになりました。それは、リスニング能力が上がったということもあったかもしれないが、アメリカの人たちが僕に一生懸命伝えようと手を使ってジェスチャーをしてくれたり、ゆっくり話してくれたりしたことが、一番大きいと思います。

僕がアメリカに行って一番心に残っているのは、アメリカの人たちの心の温かさです。

僕が荷物を持つっていると、「重たいでしょ、荷物持たせてあげるよ」と優しく声を掛けてくれました。あくびをしていると、「疲れているの？リラックスしたい？大丈夫？」と心配してくれました。僕のイメージでは、アメリカ人は自分中心という思い込みがあったので、とても驚きました。予定がたくさんあり、いろいろな体験をすることができてとても楽しかったです。僕の中では、今までで一番充実した日々だったと思います。ジャランの家族は、もう一度

来てもいいと言ってくれたので、またいつかサンタバーバラに会いに行きたいと思っています。

今回、とてもすばらしい体験をさせてもらいました。みなさんも参加することをおススメします。

「サンタバーバラにて」

鳥羽東中学校3年 小嶋 ちひろ

「きちんと通じる会話ができるかな」と初めは英会話に對して身構えていました。

アメリカに着いてすぐ、みんなで食事をする機会がありました。予想はしていましたが、食事の量が多く、食事自体の回数も多くて驚きました。日本人同士で「おなかいっぱいだね」などと話しました。また、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつがないことに気付き、食事のときにあいさつがあるのは日本の良さかなと思いました。

サンタバーバラの海は沿岸から水平線が見え、鳥羽より大きく感じました。そこでカヤックをしたり、泳いだり、夜には浜辺でマシユマロを焼いたりしました。船に乗せていただいた時には、寝ているアザラシが見えて驚きまし

た。漁船ではなく個人の船や大きな船が並んでいました。鳥羽では釣りをする人が多いですが、サンタバーバラではあまり見掛けませんでした。一日一日が、普通の観光ではできない体験でした。

伝えきれないたくさんの体験がありました。その中でも私は家族と過ごした時間が一番印象に残っています。

ティアニーの家族には、両親とお兄さん、1匹の犬と2匹の猫がいます。

お父さんはおいしい朝食やお菓子を作ってくれました。お母さんは身の回りのことを手伝ってくれたり、私が早起きした時には朝から一緒に海



へ犬の散歩へ連れて行ってくれたりしました。お兄さんはVRゲームをしました。ティアニーにはその日の予定や家のことを教えてもらったり、2人でたくさんのお話や体験をしたりしました。ペットたちとも遊んだり一緒に寝たりもしました。

初めは会話に対して身構えていたけど、家族の人たちと自分から話したいと思うようになりました。楽しい時間を過ごさせてくれた家族の人たちに感謝しています。

「サンタバーバラでの思い出」

長岡中学校2年 上村 寧音^{つえむら ねね}

私がサンタバーバラで体験したことは、たくさんあります。「何が一番楽しかったですか?」と聞かれても、どれも楽しかったので答えることができません。日本ではできないこと、めったにしないことを、サンタバーバラではたくさんすることができました。

サンタバーバラは、とても涼しくて、気候がいいです。でも、日差しが強くて、山登りをしたときは、日焼けしました。アメリカでも体を動かすことができて、とても楽し

かったです。

サンタバーバラでホームステイした家の人はとても優しくかったです。私が緊張していたときは、話しかけてくれたり、「何が好きなの?」など、明るい雰囲気を作ってくれました。そして、私がサンタバーバラでやりたいことを、全部かなえてくれました。犬と散歩したこと、アイスクリームを食べたこと、街でショッピングをしたこと、アメリカでしたいことが全部できました。私はハンバーガーがどうしても食べたくて、いっぱい食べました。本当に普段からフライドポテトやピザ、ハンバーガーを食べているんだと思いました。

日本にサンタバーバラの人たちが来たときは、日本の文



化に驚いていました。私の家にホームステイしたオリーブは、日本にいる間、食事のときは箸を使っていました。フオークとナイフも準備しましたが、「日本にいるから」と言って使っていませんでした。関係が慣れてきた頃には、いろんな英単語を使ってアメリカで人気のアーティストや、趣味、オリーブの両親のことなど、いろんな質問をして、みんなで会話しました。

私たちは、約20日間アメリカと日本で過ごしましたが、短い期間で、お互いの国の文化や生活について、いろんなことを学びました。本当に楽しかったし、いい思い出を作ることができました。

「貴重な夏の経験」

加茂中学校2年 前田 英呂^{まえだ ひろ}

「つわ。涼しい!」

それが、僕がサンタバーバラに着いて最初の驚きでした。夏の日差しなのに、空気が乾燥していて気持ち良かったです。ムシムシと暑い日本とは大違いでした。景色がきれいで、空気がおいしかったです。

サンタバーバラは、思ったよりものどかな街で、でも

ショッピングモールやドーナツショップなどのたくさんのお店がありました。初日から、僕はワクワクしました。

僕の家ホストファミリー、ワドワさん一家との初対面の時、は、少しドキドキしました。でも、バスから降りると、ワドワさん一家全員が温かく迎えてくれてホッとしました。

それからの毎日、本当に充実していました。

初めてのアイススケートもアメリカで体験しました。街には大きなスケートリンクがあって、サンタバーバラの子たちは、みんなとても滑り慣れていたの、僕は教えてもらいながら頑張って滑りました。

最も印象に残ったのは山登りでした。日本の山登りと全然違う景色でした。木がほとんどなくて、空気は澄んで、大きな岩がたくさんありました。上に登れば登るほど、景色が開けて涼しくなりました。こんなに気持ちのいい山登りは初めてだと思いました。

海でパドルボードをこいだことや、音楽の生演奏を聴きながらのバーベキュー、プールパーティーなど初めて体験することはかりでした。



僕はアメリカに行くことができたことに、とても感謝しています。この経験を活かすことで、いろんな人に恩返しできればいいと思いました。